

古代ロマンに眠る星ヶ塔遺跡

下諏訪のおいでや 調査資料集め企画展



星ヶ塔遺跡に関する調査研究について説明する宮坂清さん

下諏訪町の山中にあり、国史跡に指定されている「星ヶ塔黒曜石原産地遺跡」。同町の観光施設「しもすわ今昔館おいでや」は、そんな遺跡の発見、発掘に関するさまざまな資料を集めた企画展を開催し、古代のロマンが眠る遺跡を紹介している。会期は3月31日まで。

同遺跡は縄文時代に黒曜石が発掘されていた跡。標高約1500㍎の霧ヶ峰北西に広がる約3万5000平方㍎の範囲に193カ所の採掘跡が分布しており、2015年に国史跡に指定された。21年にはNHKの人気番組「ブラタモリ」で星ヶ塔遺跡が紹介されたことで全国的に注目を集め、遺跡を商材としたツアーも人気を集めている。

おいでや敷地内には星ヶ塔ミュージアム「矢の根や」があり、ジオラマや縄文土器などの展示で星ヶ塔遺跡や黒曜石について紹介しているが、

発見や発掘の歴史についての紹介が少ないため、今回の企画展が計画された。

企画展では、長年にわたり星ヶ塔遺跡の調査、研究に携わり、現在は矢の根やの専門アドバイザーも務めている宮坂清さんが収集した資料や研究成果を展示している。宮坂さんは黒曜石が出土する「星ヶ峰」にちなんで「星ヶそおじさん」の愛称でも親しまれている。

会場では、人類学者、考古学者である鳥居龍蔵氏による発掘調査で黒曜石原産地遺跡であることが判明した1920年から、国史跡に指定され

るまでの各種資料や写真などを展示。その経緯や遺跡の価値について紹介している。

3年ほど前には星ヶ塔遺跡に関する研究論文を発表している宮坂さんは「八ヶ岳山麓一帯が当時の経済の中心だったことを示す遺跡」とし、「黒曜石産地であること、黒曜石については多くの人が知っているが、発見の経緯についても知ってもらいたい」と話している。

開館時間は午前9時～午後4時。水曜休館。入館料は大人600円、小中学生300円。問い合わせは同館(電話0266・27・0001)へ。(浜武司)